

事業評価シート

番号 1340070 - 001

【1.基本情報】

事業名	東部クリーンセンター管理				
担当部名	環境部	担当課名	東部クリーンセンター		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進			政策コード	6 - 3 - 0 - 0
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成10年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、ごみを衛生的に効率よく処理する。	
事業の内容	ごみを効率よく焼却し、信頼性の高い排ガス処理システムにより、ダイオキシン類等有害ガスの排出を抑制し、周辺環境の改善に努める。また、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを最大限に活用する発電設備により、施設への電力供給を行うと共に余剰電力を売却する。	
事業の対象	何を	ごみ処理(普通ごみ及び粗大ごみ)
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	ごみ焼却(処理能力最大450t/日、稼働日数352日)、発電能力7,000kw 粗大ごみ処理(処理能力最大60t/5h)
令和元年度 (実施内容)	ごみ処理施設及び発電設備を安定かつ効率的に運転した。 (東部クリーンセンター粗大ごみ処理施設火災事故により粗大ごみの処理方法を変更している。)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	115,388	3,640	115,388	3,640	114,920	3,380
嘱託職員	24,102	2,340	24,102	2,340	27,040	2,600
アルバイト	276	60	271	59	635	135
計(A)	139,766	6,040	139,761	6,039	142,595	6,115

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,015,302	1,048,339	830,629
直接事業費の主な内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目			
ごみ焼却施設運転管理業務委託	347,162	334,352	351,287
ごみ焼却施設整備工事	173,029	175,182	134,383
発電設備法定点検業務委託	33,480	36,504	37,180
減価償却費【施設管理】※(C)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C	1,015,302	1,048,339	830,629

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,155,068	1,188,100	973,224

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	68	80	40
その他	362,570	414,800	423,457
計(F)	362,638	414,880	423,497

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	792,430	773,220	549,727

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,931	1,891	1,344

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	廃棄物焼却量(粗大ごみ処理量)	単位	t
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	102,410(6,990)	102,410(6,990)	102,410(6,990)
実績値	109,374(6,739)	109,747(7,858)	107,870(8,150)

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	(発電量) 売電量	単位	万kWH
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	(3,794) 1,925	(3,794) 1,925	(3,794) 1,925
実績値	(4,218) 2,482	(4,400) 2,604	(4,229) 2,423

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。 継続的・安定的・確実に行うために、市が主体となって施設を維持管理し、一般廃棄物の処理を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	焼却施設の全面的な運転管理を当初から委託し安定的な運転管理が行われている。 市の責務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	安心安全のごみ処理を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市の責務であり現状維持が妥当と思われる。

事業評価シート

番号 1340070 - 002

【1.基本情報】

事業名	芥見リサイクルプラザ管理				
担当部名	環境部	担当課名	東部クリーンセンター		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成10年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市リサイクルプラザ条例	

【2.事業概要】

事業の目的	再使用品譲渡事業として抽選会と、不要になった物を材料としたリサイクル体験教室を開催し、資源の再利用やリサイクルについて考え実践する場としてもらうため実施する。	
事業の内容	施設見学、再使用品譲渡事業として抽選会、リサイクル体験講座として紙すき体験、リサイクル工作及び夏休み親子リサイクル体験講座を行っている。	
事業の対象	何を	再使用品譲渡事業及び体験講座として不用品を材料としたリサイクル工作
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	粗大棟復旧工事着手につき、平成30年度から休館中
令和元年度 (実施内容)	大杉一般廃棄物最終処分場での開催(リサイクル工作講座 30件、施設見学 8件) 出前授業 18件	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	8,034	780	8,034	780	5,408	520
アルバイト	276	60	271	59	0	
計(A)	8,310	840	8,305	839	5,408	520

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	再使用品選別修理事業委託	0	0	
	PR事業	87	100	66
	パンフレット作成	0	0	
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		10,278	10,278	10,278
		10,651	10,681	10,790

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	18,961	18,986	16,198

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	1	1	
その他			3
計(F)	1	1	3

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	18,960	18,985	16,195

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	46	46	40

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	308	0	0
実績値	308	0	0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来館者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10,000	150	0
実績値	5,405	150	56

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	ごみ減量化のため、市民への啓発は必要事業である。 リサイクルの推進は、廃棄物処理法及び本市のごみ処理計画に基づき、市の責務として実施するものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設見学:小学生を中心に要望が多く、大杉一般廃棄物最終処分場学習習練に場所を変更して開催した。 講座:広がり不足特定の利用者の利用にとどまっている。 現状の運営(嘱託2人)が最も効率的と考える
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	施設見学:小学生を中心に要望が多いが、東部クリーンセンターでの見学受入ができなかったことから、見学件数は減った。 講座:広がり不足特定の利用者の利用にとどまっている。火災後本格的に粗大棟の復旧工事が始まったので開催事業の見直しを行った。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	見学:無料 リサイクル講座:材料費等の実費だけの負担。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	今後の粗大棟復旧工事の進捗状況を見ながら対応。

事業評価シート

番号 | 1340070 | 003

【1.基本情報】

事業名	最終処分場管理				
担当部名	環境部	担当課名	東部クリーンセンター		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進			政策コード	6 - 3 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和54年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	最終処分場の維持管理を適正に行い公害防止に努める。	
事業の内容	焼却残渣の埋立及び浸出水を適正に処理して、周辺の環境保全に努める。	
事業の対象	何を	焼却残渣
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	埋立総容量(大杉一般廃棄物最終処分場) 270,000m ³ 浸出水処理能力(北野阿原一般廃棄物最終処分場 220m ³ 大杉一般廃棄物最終処分場 180m ³ /日)
令和元年度 (実施内容)	埋立地と浸出水処理施設を適正に管理した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	10,712	1,040	10,712	1,040	10,816	1,040
アルバイト	0		0		0	
計(A)	10,712	1,040	10,712	1,040	10,816	1,040

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		77,118	82,669	62,948
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	焼却残渣運搬業務委託	0	0	0
	浸出水処理施設維持管理業務委託	10,213	10,213	10,308
	埋立地及び河川水質検査業務委託	4,314	4,390	4,645
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		77,118	82,669	62,948

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	87,830	93,381	73,764

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	8,126	8,174	8,118
その他	176	67	112
計(F)	8,302	8,241	8,230

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	79,528	85,140	65,534

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	194	208	160

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	埋立量	単位	t
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	16,400	16,400	16,400
実績値	14,895	14,723	14,446

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	環境への影響	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市の責務である一般廃棄物処理。 地元住民の協力、理解によって成り立っている事業であり、継続的な地元理解を得るため、市が主体となって事業を行うことは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地元住民の理解を得るため必要なコストである。 市の債務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	継続的に良好な関係が構築されており有効に機能している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	適正な浸出水処理を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	埋立量も計画どおり行われている。

事業評価シート

番号 1340070 - 004

【1.基本情報】

事業名	リフレ芥見管理				
担当部名	環境部	担当課名	東部クリーンセンター		
未来地図政策	活動の源になる健康づくりの推進		政策コード	2 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	指定管理者	
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市リフレ芥見条例	

【2.事業概要】

事業の目的	スポーツ、リクリエーション施設として提供し、市民及び学校教育に利用して頂き、健康増進や文化リクリエーション活動の支援を目指す。	
事業の内容	歩行浴プール棟(歩行浴プール・サウナ・ジャグジー・温浴プール・リラクゼーションルーム・談話室・多目的ルーム・トレーニングルーム)、多目的ドーム、足湯、幼児用プール、芝生広場	
事業の対象	何を	歩行浴プール棟、多目的ドーム
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民等
	どのくらい (具体的 数値で)	年283日間の開館日
令和元年度 (実施内容)	年283日間の開館日	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		25,008	27,747	31,380
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	指定管理料	23,700	23,700	23,920
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		25,008	27,747	31,380

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	25,008	27,747	31,380

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	21	21	20
その他			
計(F)	21	21	20

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	24,987	27,726	31,360

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	61	68	77

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	308	308	308
実績値	308	308	283

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	60,000	60,000	60,000
実績値	64,815	64,661	57,223

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	手軽にできる健康増進施設である。 一般廃棄物処理施設建設時に、地元対策として建設した。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	指定管理者制度を導入し安定的な運営ができています。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	利用料金制を取り入れた指定管理者制度を導入して安定的な運営管理が行われている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	指定管理者制度と利用料金制度により適正に運用されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理施設の地元還元施設であること、目標値を超える利用者があることから現状維持が妥当と思われる。